

外国語活動学習指導案

学習者 附属小学校 3年2組 34名

指導者 木村 友哉

単元名 サンキューカードをつくって、ありがとうの気持ちをお家の人に伝えよう！

(教材 3年—Unit7 This is for you. カードをおくろう)

1. 単元目標

お家の人に感謝の気持ちを伝えるサンキューカードをつくるために、その材料を選ぶ際に、相手に伝わるように工夫しながら、色、形、大きさなど身の回りのものについて、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

※なお、本単元における「聞くこと」については目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

2. 単元について

必然性	いつもお世話になっているお家の人に感謝の気持ちを伝えるサンキューカードを作るために、色や形、大きさなどを英語で尋ねる
リアル感	自分が集めた好きな飾りを用いて、図工科で実際に色鮮やかなサンキューカードを作り、感謝の気持ちを表しながら、お家の人に贈る
楽しさ	飾りを集めるためのやり取りを通して、友達の飾りの工夫を知り、お家の人を思って集める楽しさ
相手意識	作成するカードの材料を集めるために、友達にわかりやすく伝えようとする意識

3. 言語材料 (下線は新出表現)

○ What do you want? (), please. This is for you.

Here you are. Thank you. You're welcome.

○ want, this, a, for

色 (red, blue, green, yellow, pink, black, white, orange, purple, brown)

形 (square, rectangle, star, diamond など)

大きさ (big, small)、

[既出] 挨拶、状態・気持ち、数(1～20)

[期待する既習表現] What shape? What color? Big or small? How many? I like (square).

4. 該当する学習指導要領における領域別目標と、本校における Challenge・Can-Do リストとの関連

話すこと(やりとり)	学習指導要領 【CS】	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。
	Challenge リスト 【CL】	(イ)体調や気分を表す言葉や、数字や色・形、などについて、聞き取りやすい声の大きさや速さ、動作や表情を交えながら話したり、うなずくなどの反応を返しながらかいたりして伝え合おうとする。

5. 単元の評価規準

	知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと(やりとり)	色や形など、身の回りのもののなかで欲しいものについて、 What do you want? や ～,please.などを用いて、尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	お家の人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りのもののなかで欲しいものについて、尋ねたり答えたりして伝え合っている。	お家の人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りのもののなかで欲しいものについて、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

6. 「話すこと〔やりとり〕」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画（6時間）

時	目標（◆）と主な活動（【 】, ○) 【 】=誌面化されている活動	評価			
		知技	思判表	態度	◎評価の観点（評価規準）〈方法〉
道徳	<p>「ありがとうの気持ちをこめて」B 感謝 [想定される児童の姿]</p> <p>「自分の生活を支えてくれる人がたくさんいるんだなあ。」</p> <p>「感謝の気持ちを伝えたいなあ」</p> <p>「いつも自分のことを家族が支えてくれている。ありがとうの気持ちを伝えたい。」</p>				
学級活動(Ⅰ)	<p>○道徳の学習から自己の課題「お家の人に感謝を伝えられていない」に気づく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">いつも自分たちをおうえんしてくれるお家の人へ感謝の気持ちをとどけよう！</div> <p>○学級会を開いて話し合いを行う。</p> <p>議題「おうちの人への感謝の気持ちを伝えよう」</p> <p>提案理由おうちの人には日頃からお世話になっているし、これまで運動会の応援や歌声発表会に来てくれた。あらためて、おうちの人に感謝の気持ちを伝えたいから。</p> <p>話し合いの柱①「どんな方法で感謝の気持ちをつたえるか」</p> <p>話し合いの柱②「役割分担はどうするか」</p>				

◆単元のゴールと見通しをもち、色や形を表す言い方に慣れ親しむ。

○Classroom English Practice

○Small Talk

A: Hello.

H: Hello.

A: Thank you for your letter, Mr.Kimura.

H: You're welcome.

A: I have a card. It's a Soft-ball.

This is for you.

H: Thank you. Oh, so nice! My treasure.

: ALT がつくったカードを見て、お家の人
にありがとうの気持ちを伝えるために自分
たちもサンキューカードをつくる意欲をも
つ。

○単元を通した目標について知る。

サンキューカードをつくって、ありがとう
の気持ちを家の人に伝えよう！

○ALT がつくったカードを見て、いろいろな図
形が使われていることや、図形をもとに身の
回りのものが描かれていることに気づく。

○本時のめあてについて知る。

色や形を表す言い方になれよう。

○Activity

: What shape クイズをする。

【Let's Play1】 P.26.27

: 真っ黒のシルエットを見て、それが何かを
推測して当てる。(シェイプ・クイズ)

○Activity

: 一人ひとりがビンゴカードを持ち、ビンゴ
カードのマスの中の好きな場所に色や形を
選び、友だちとのやりとりの中でビンゴを
する。

[想定される児童の姿]

A: Hello.

B: Hello.

A: What shape do you like?

B: I like stars.

A: Stars! Nice.

B: What color do you like?

A: I like red.

B: Red! Nice.

A: See you.

本時では、記録に残す評価は行わないが、
目標に向けて指導を行う。児童の学習状況
を記録に残さない活動や時間においても、
教師が児童の学習状況を確認する。

図工

いつも自分たちをおうえんしてくれるお家の人へ感謝の気持ちをとどけよう！

クラスの友達へのサンキューカードのデザインを、ロイロノートを使って考えるとともに、グループで協力してサンキューカードで使うシェイプスカードを作成する。

◆欲しい物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

○Classroom English Practice

【Let's Chant】♪What do you want?

○Small Talk :

A: What do you want, Mr.Kimura ?

H: Pink hearts, please?

A: Big? Small?

H: Small, please?

A: How many?

H: Three, please.

A: OK! Here you are.

H: Thank you.

A: You're welcome.

○本時のめあてについて知る。

ほしい物をたずねたり答えたりする表現
になれよう。

○Let's practice

: 教師とやり取りをする中で、欲しいものを答える表現に慣れ親しむ。

○Activity

: ペアの友達と欲しいシェイプスカードを尋ねたり答えたりして、ロイロノートを使って形を送り合う。

[想定される児童の姿]

A: What do you want, B?

B: Pink hearts, please?

A: Big? Small?

B: Big, please?

A: How many?

B: Two, please.

A: OK! Here you are.

B: Thank you.

A: You're welcome.

B: What do you want, A?

【Let's Listen】 P.29

: 誰の作品かを聞いて、線で結ぶ。

本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。

2

3	<p>◆クラスの友達へのサンキューカードに必要なシェイプスカードを集めるために、欲しい物を尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○Classroom English Practice 【Let's Chant】♪What do you want? ○本時のめあてについて知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">友だちへのサンキューカードにひつようなシェイプスカードをあつめよう。</p> <p>○Activity : サンキューカード作りに必要なシェイプスカードを尋ねて渡したり、貰ったりしながら、カードに使う形を集める。</p> <p>【想定される児童の姿】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: What do you want? B: Red squares, please? A: Big? Small? B: Small, please? A: How many? B: Two, please. A: OK! Here you are. B: Thank you. A: You're welcome.</p> </div> <p>○Refrection : 本時の活動を振り返り、うまくいったところやうまくできなかったところをまとめ、次時につなげる。</p>	や			<p>[話すこと (や)] の記録に残す評価</p> <p>◎色や形など、身の回りの物の中で欲しいものについて、What do you want?や~, please.などを用いて、尋ねたり答えたりしている。</p> <p>(行動観察・紙面分析・動画分析)</p>
図工	<p>外国語活動で集めたシェイプスカードをもとに、クラスのペアの友達へのサンキューカードをつくる。</p>				
図工	<p>お家の人へのサンキューカードのデザインを、ロイロノートを使って考えるとともに、グループで協力してサンキューカードで使うシェイプスカードを作成する。</p>				
4 (本時) ・ 5	<p>◆お家の人へのサンキューカードに必要なシェイプスカードを正確に集めるために、欲しい物を相手に伝えるように尋ねたり答えたりする方法を考える。</p> <p>○Classroom English Practice 【Let's Chant】♪What do you want? ○本時のめあてについて知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">お家の人へのサンキューカード用のシェイプスカードを集めるために正確にやりとりしよう</p> <p>○Activity : サンキューカード作りに必要なシェイプスカードを尋ねて渡したり、貰ったりしながら、カードに使う形を集める。</p>	や	や		<p>[話すこと (や)] の記録に残す評価</p> <p>◎おうちの人に渡すサンキューカードを作るために、相手に伝えるようにゆっくり話したり相手の言葉を復唱したりしながら、色や形など、身の回りの物の中で欲しいものについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。</p> <p>(行動観察・紙面分析・動画分析)</p>

	<p>[想定される児童の姿]</p> <p>A: What do you want? B: <u>Pink hearts, please?</u>(指さし) A: <u>Pink hearts.</u> (繰り返し) <u>Big? Small?</u>(ジェスチャー) B: <u>Big, please?</u> (ジェスチャー) A: How many? B: <u>Eight, please.</u> (ジェスチャー) A: <u>Eight</u>(繰り返し), OK! Here you are. B: Thank you. A: You're welcome.</p>		<p>◎おうちの人に渡すサンキューカードを作るために、相手に伝わるように身近にある物を指さしたりジェスチャーをしたりしながら、色や形など、身の回りの物の中で欲しいものについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。</p> <p>(行動観察・紙面分析・動画分析)</p>
6	<p>◆プレゼントするときの表現に慣れ親しみ、感謝の気持ちが伝わるよう友達に渡すことができる。</p> <p>○Classroom English Practice 【Let's Chant】 ♪What do you want? ○Small Talk</p> <p>T: Hello. A: Hello. T: Thank you for your card, Ed. A: You're welcome. T: I have a 'Thank you card'. It's 'Takoyaki'. This is for you. A: Thank you. Oh, so nice! My treasure.</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>かんしゃの気持ちが伝わる表現になれて友だちにプレゼントしよう</p> <p>○Let's practice : 教師とやり取りをする中で、物をプレゼントするときの表現に慣れ親しむ。 ○Activity : ペアの友達と自分が作ったサンキューカードを相手に伝わるように工夫して紹介し合いながら、サンキューカードを渡す。</p>		
図工	<p>外国語活動で集めたシェイプスカードをもとに、お家の人へのサンキューカードをつくる。</p>		
学級活動	<p>いつも自分たちをおうえんしてくれるお家の人へ感謝の気持ちをとどけよう!</p> <p>○学習の振り返りを行い、次回の学級活動につなげるようにする。</p>		

7. 本時の指導

Unit 7 単元名 サンキューカードをつくって、ありがとうの気持ちをお家の人に伝えよう！	
4 / 6 時間 (本時)	
本時のねらい	お家の人に渡すサンキューカードに必要なシェイプスカード集めについて、交流したり、やりとりする際の困りを共有して、より相手に伝わる方法を考えたりすることを通して、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うようにする。
準備	キーセンテンス 1人1台端末 デジタル教科書 単語カード シェイプスカード サンキューカード (教師モデル)
(評価規準)	※本時案に位置づける
具体的な児童の姿	ジェスチャーしたり、言葉を復唱したり、簡単な英語を使い問い返したりしながら、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている姿。 客側「Two, please.」 (ジェスチャーをして伝えている) 店側「Two, OK!」 (「Two, please.」に対して言葉を復唱している) 「Big? Small?」 (相手が欲しいものについて簡単な英語を使い問い返している)

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉※支援を要する児童の手立て	準備物
3分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○【Let's Chant】</p> <p>: What do you want? P.31</p>	<p>※児童の実態に合わせて行う。</p> <p>前時までの学習から、話すことに困りがある児童が言い方に慣れ親しむために、歌うスピードを変えるようにする。</p>	デジタル教材
2分	<p>○めあてを確認する。</p> <p>お家の人へのサンキューカード用のシェイプスカードを集めるために正確にやりとりしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しや前時の学習をもとに、本時のめあてを確認し、自分のめあてを考える。 自分がデザインしたサンキューカードをつくるために、友達と欲しい物を尋ねたり答えたりしてシェイプスカードを集める必要性があることを確認できるようにする。 	教師モデル
5分	<p>Activities</p> <p>○Small Talk</p> <p>: HRT が尋ねる役、児童が答える役で、欲しいものを尋ねたり伝えたりする。</p> <p>H: What do you want? C: Red rectangles, please? H: Big? Small? C: Big please. H: How many? C: Two, please. H: OK! Here you are. C: Thank you. H: You're welcome.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時の表現から発展したいところに着目させ、欲しいシェイプスカードを集めるには4つの特徴(数・大きさ・色・形)を伝える必要があることに気付くようにする。 児童がより相手に伝わる方法を考えられるように、HRT が意図的にジェスチャーで表現したり、言葉を復唱したりする。 <p>※児童の実態に応じて、欲しいものを尋ねたり伝えたりする表現や形・色・数を表す言い方を、復唱しながら確認できるようにする。</p>	単語カード シェイプスカード

30分	<p>○Let's Talk</p> <p>: サンキューカードを作るために必要なシェイプスカードを英語で伝えて集めたり、渡したりする。</p> <p>(前半:10分、half time:5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>A: What do you want?</p> <p>B: <u>Pink hearts, please?</u>(指さし)</p> <p>A: <u>Pink hearts.</u> (繰り返し)</p> <p><u>Big? Small?</u>(ジェスチャー)</p> <p>B: <u>Big, please?</u> (ジェスチャー)</p> <p>A: How many?</p> <p>B: <u>Two, please.</u> (ジェスチャー)</p> <p>A: <u>Two</u>(繰り返し), OK!</p> <p>Here you are.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[期待する既習表現]</p> <p>O.K. Here you are.</p> <p>No sorry. Thank you.</p> <p>You're welcome. See you.</p> </div> <p>(後半:15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お店側になる児童は、自分の会話の様子を動画で録画するようにする。 ・Half Time では、4つの特徴(数・大きさ・色・形)を伝えられなかったときに、ジェスチャーを使って尋ねたり、聞き返したりして、正確に聞き取ろうとしている児童を紹介し広める。 <p>※HRT との Small Talk を想起したり、HRT と ALT がやりとりをする動画を参考にしたりしながら、より相手に伝わる方法を考えることができるようにする。</p> <p>◎おうちの人に渡すサンキューカードを作るために、相手に伝わるようにゆっくり話したり相手の言葉を復唱したりしながら、色や形など、身の回りの物の中で欲しいものについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。</p> <p style="text-align: center;">〈行動観察・紙面分析・動画分析〉</p> <p>◎おうちの人に渡すサンキューカードを作るために、相手に伝わるように身近にある物を指さしたりジェスチャーをしたりしながら、色や形など、身の回りの物の中で欲しいものについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。</p> <p style="text-align: center;">〈行動観察・紙面分析・動画分析〉</p>	1人1台端末
4分	<p>Comments</p> <p>○本時の振り返りをする。</p> <p>○HRT のコメントを聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りは、必要なシェイプスカードを、集める時や渡す時の工夫ができたかという視点から、振り返りシートに記入する。 	振り返りシート
1分	<p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>		